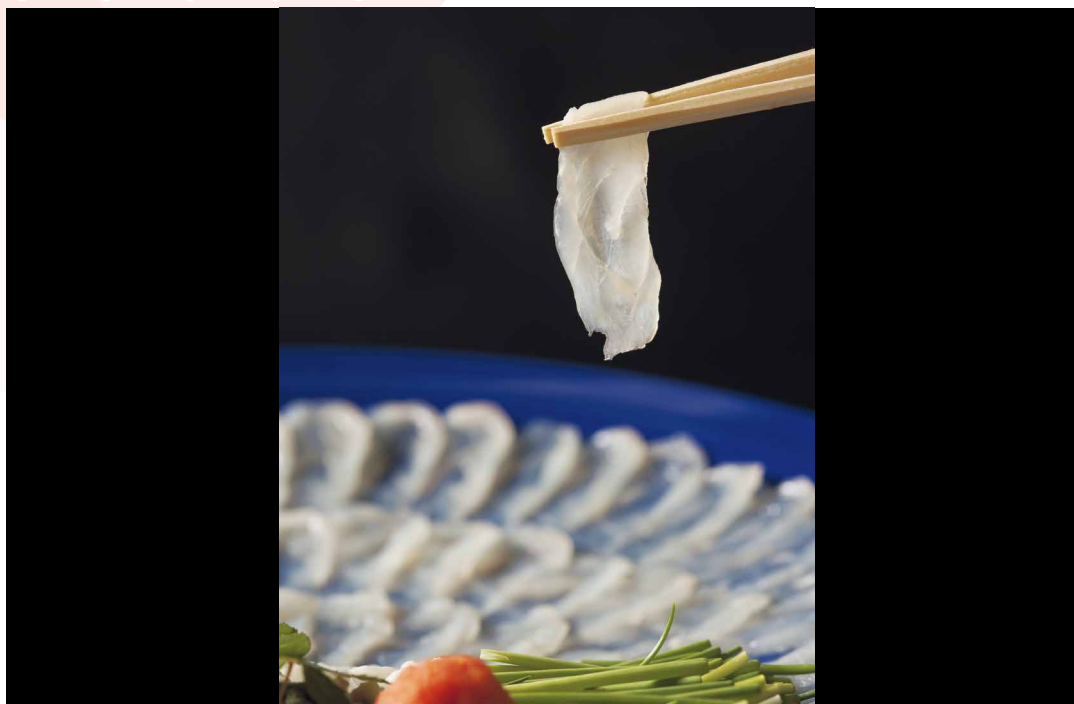


ふぐの郷臼杵

～令和7年9月22日(月)訪問～ 【臼杵市】



豊後水道の天然トラフグは、日本初の食を主題にした随筆『美味求真』でも紹介されています。昭和40年以降、臼杵市内にふぐ料理専門店が増え、高度経済成長期の発展を受けて、臼杵のふぐの評判が高まりました。

平成4年、市内のふぐ料理店や魚卸業者が「ふぐで町おこし」と会を設立し、のちに「ふぐの郷臼杵」となりました。

懇談では、JRとのタイアップによる「ふぐ列車」の運行や、毎年行われている夏ふぐキャンペーンなど、さまざまなPR活動を通じて臼杵ふぐの認知度を高めてきたことを伺いました。臼杵のふぐは、産地ならではの「さばきたての新鮮なふぐ」を厚切りのてっさで提供することで、他産地との差別化を図っていること、ふぐの養殖技術が進んだことで品質が向上し、天然ものとの差がなくなっていること、海外マーケットへの挑戦などについてお聞きしました。

さらに、売上拡大に向けて、インバウンドへの情報発信や、由布院の宿泊施設とのコラボレーションが好評であったことを受け、県全体での連携を進めることなどについて意見交換を行いました。

長年にわたるブランドづくりへの努力に敬意を表するとともに、引き続き県としても応援していきたいとお伝えしました。



関連分野における県の施策 (令和8年度)

☆事業名：地域未来創造総合補助金

事業概要：人口減少が急速に進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額：5億円

☆事業名：観光地域づくり共創事業

事業概要：観光客の長期滞在と消費拡大を促すため、ツーリズムおおいたと連携した複数市町村を跨ぐ旅行商品の造成を支援

予算額：3,932万円